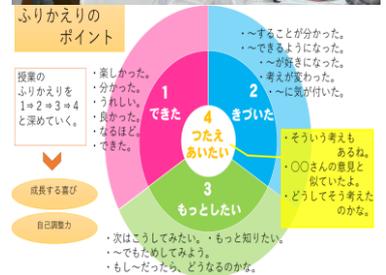


## 1. 実践研究テーマ

学びの楽しさ・成長する喜びを前向きに受け止められる力を育む。

## 2. 取組の内容(協力校等との連携等を含む)

- 学力向上実行プランや小中における共有の取組についての意見交流会
  - ・本校の学力向上実行プランに対して、協力校からの意見を取り入れ、よりよいプランを作成した。
  - ・児童生徒の「学ぶ楽しさ・成長する喜びを前向きに受け止められる力を育む」ために、小中における共通の取組を「めあてとふりかえりの徹底」と定め、各校の具体的方策について意見交換した。
- 小中における共通の取組「めあてとふりかえりの徹底」の充実
  - ・本校が作成した「ふりかえりシート」を用いての児童の学ぶ姿勢や態度の変容、学力向上の成果と課題を提示した。
- 授業参観・研究会を通じた小中連携の推進
  - ・小学校の授業研究会→ICTの効果的な活用と  
 ふりかえりシートの活用方法の提案
  - ・校区内の児童生徒の課題の共有
  - ・中学校での授業参観→9年間を見通した児童生徒指導体制の共通理解



## 3. 取組の成果

### ○ 教職員の変容

- 小中における共通の取組「めあてとふりかえりの徹底」を充実させるために、教員全体が足並みを揃えて、取り組むことができた。
- ふりかえりシートを有効に活用し、めあてとふりかえりの整合性を図るために、授業改善・工夫する教員が増えた。
- 児童の学習達成状況を意識して見取るようになった。

### ○ 児童生徒の変容

- ふりかえりシートを継続的に活用することで、全体の約3割の児童が「自分の得意・不得意なことがわかるようになった。」とアンケートで回答していた。
- ふりかえりを通して、学習の定着状況が客観的に分かるようになることで、全体の約8割の児童が「来年度もふりかえりシートを活用したい。」とアンケートで回答していた。

## 4. 2年次に向けての取組予定

- 持続可能で有効的な「ふりかえりシート」の活用方法の提案。
- めざす児童像を教員全体で共通理解し、問題解決に向けて取り組む指導体制の充実。
- 取組に対する検証・評価の計画と成果を確かめる指標の設定。